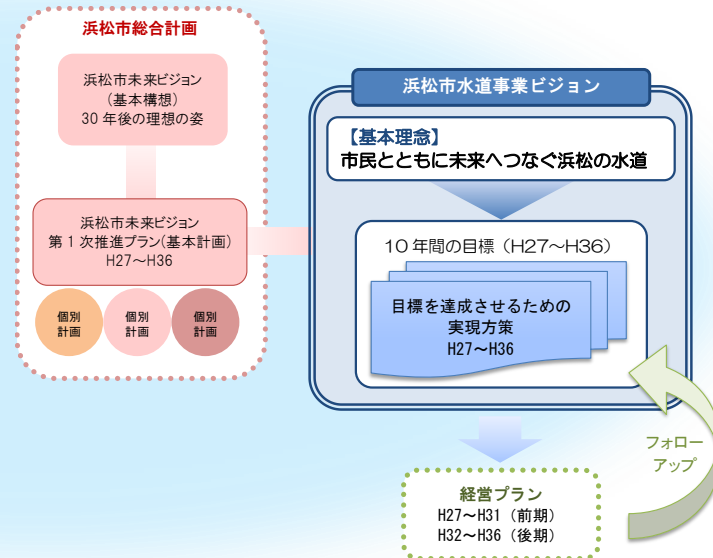


水道事業ビジョン推進に向けて

水道事業ビジョンで取り組む目標に対する達成度と取り組みや事業の進め方について、内部評価と外部機関による評価の結果を反映させながら、事業の拡充や改善、見直し等を判断し、水道事業ビジョンの推進を図っていきます。



水道事業ビジョン策定までの検討経緯

- 平成 18 年 7 月 「浜松市上水道事業基本計画」(H18~H36) 策定
- ：
- 平成 26 年 11 月 経営問題検討委員会①
- 平成 27 年 3 月 経営問題検討委員会②
「水道事業中期財政計画」策定
- 平成 27 年 6 月 経営問題検討委員会③
- 平成 27 年 9 月 経営問題検討委員会④
- 平成 27 年 11 月 パブリック・コメント(意見募集)実施
- 平成 28 年 2 月 経営問題検討委員会⑤
- 平成 28 年 3 月 意見募集結果および市の考え方公表
水道事業ビジョン (H27~H36) 公表

なぜ今、策定が必要？

水道事業を取り巻く環境の変化に対応し、将来にわたって健全な水道経営を継続していくために、これまでの方針を見直し、改善や充実を図るためです

これからの水道はどうなるの？

減少していく水需要に合わせた適正な施設管理や効率的な水運用を実施しながら、安全で強靱な水道を堅持していきます

経営問題検討委員会からいただいたおもなご意見

コンパクトシティなどまちづくりとの整合を図るように

市民の水道に対する信頼が低下しないように

職員減により計画の実行力が落ちないように

パブリック・コメント(意見募集)の結果概要

【意見提出者数】4人、3団体 【意見提出数】90件

【多くの意見が寄せられた項目】

アセットマネジメントの実行(実現方策1)、料金制度適正化の検討(実現方策2)、官民連携手法の積極的な導入(実現方策3)、職員の技術力の維持・向上(基本施策3)、中山間地域における水道サービスの提供(実現方策8)

浜松市水道事業ビジョン概要版 平成 28 年 3 月

浜松市水道事業ビジョン本編と概要版は
浜松市ホームページにも掲載しています

編集・発行：浜松市上下水道部
TEL 053-474-7411 URL <http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp>



ジャグっち&ジャグちゃん

浜松市水道事業ビジョン

2015 - 2024



大原浄水場



上下水道フェスタ



天竜の恵

基本理念

市民とともに未来へつなぐ浜松の水道

これまで築き上げてきた信頼関係を礎とし、市民の理解を得ながら共に考え協力し合っていくことにより次世代に健全な水道を引き継いでいくことができると考え、『市民とともに未来へつなぐ浜松の水道』を本市水道事業のこれからの基本理念としました。

浜松市水道事業の現状と課題

経営環境の悪化

- 水需要の減少
水需要の減少による給水収益の減少 107.6 億円 → 10年後 → 98.2 億円
- 大量更新期の到来
今後 10 年以内に必要な管路と施設の更新費総額約 2,100 億円
- 簡易水道事業の経営統合
簡易水道事業統合後、収支不足が深刻化する見込みです
- 技術力の継承
今後、経験豊かな職員が減少するため、技術力の低下が心配されます

社会環境の多様化

- 市民ニーズの多様化・高度化
お客さまの視点に立ったサービスの提供が求められています
- 水源と水道水質に対する不安
水源地域の環境変化や施設の老朽化による水質劣化に不安があります
- 省エネルギー対策、環境負荷低減対策
省エネ機器への切り替えや浄水発生土の有効利用を検討しています

自然災害への不安の増大

- 巨大地震に対するハード整備への要請
南海トラフで発生するマグニチュード9クラスの巨大地震
【被害想定】水道施設 95%の復旧に6週間程度必要
⇒広範囲で長期間にわたり給水が停止してしまう可能性があります
- 総合的な防災対策強化への要請
家庭での飲料水備蓄をはじめ、被災後の応急給水や応急復旧活動など、市民や他団体との協働・連携による総合的な防災体制の構築が必要です

浜松市未来ビジョンが描く「どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている」姿の実現に向け、
3つの基本目標を掲げ、今後10年間でその目標を達成するための8つの基本施策を定め具体的な16の実現方を推進します

【基本目標】 健全な水道経営の持続

【基本施策1】施設管理適正化の推進と財務体質の強化

- 実現方策1 アセットマネジメントの実行と建設コスト縮減
 施策目標 ・更新費用の抑制と平準化 **重要**
 ・建設コスト5%縮減
- 実現方策2 企業債の借入抑制と料金制度適正化の検討
 施策目標 ・企業債残高 254億円⇒246億円・料金回収率 95.2%⇒100%

【基本施策2】民間活力やICTの活用による効率的な運営の推進

- 実現方策3 官民連携を活かした運営管理体制の構築
 施策目標 ・コンセッション方式など官民連携手法の積極的な導入
- 実現方策4 施設管理システムの再構築等
 施策目標 ・施設管理システムの運用開始

【基本施策3】職員の技術力の維持・向上

- 実現方策5 多様な職員研修の実施
 施策目標 ・職員技術研修実施方針による計画的な研修の実施
- 実現方策6 国際的な人材育成と技術支援
 施策目標 ・海外技術協力活動の毎年実施



漏水探査の様子



漏水修繕の様子



職員技術研修の様子

【基本目標】 安定したサービスと安全な水道水の提供

【基本施策4】サービス提供体制の強化

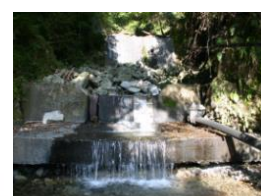
- 実現方策7 PR活動の充実と市民対応のレベルアップ
 施策目標 ・アンケート調査やモニター制度による意見の把握と反映
- 実現方策8 中山間地域における水道サービスの提供手法の検討
 施策目標 ・H31までに新たな運営体制の構築
 ・事故時対応マニュアルの見直し

【基本施策5】安全な水道水質の堅持

- 実現方策9 安定した浄水管理体制の構築
 施策目標 ・水源管理のための水安全計画の見直し **重要**
- 実現方策10 新しい配水管理システムの構築
 施策目標 ・事故時平均復旧時間の短縮

【基本施策6】環境に配慮した効率的な水運用の推進

- 実現方策11 配水区域の再編と施設の統廃合
 施策目標 ・H31までに事業着手
- 実現方策12 省エネルギー対策の推進
 施策目標 ・天日乾燥汚泥の水道工事利用率0%⇒100%



中山間地域の水道水源施設



大原浄水場の施設見学

【基本目標】 強靱で安心できる水道システムの構築

【基本施策7】被災後の断水リスクの軽減

- 実現方策13 重要施設の優先的な耐震化
 施策目標 ・緊急連絡管路整備をH31までに事業着手
 ・基幹管路耐震適合率 56.5%⇒100% **重要**
- 実現方策14 バックアップを考慮した水源整備
 施策目標 ・H31までに事業着手

【基本施策8】総合的な防災体制の充実

- 実現方策15 市民協働による防災活動の推進
 施策目標 ・自助防災PRや他団体との合同防災訓練の毎年実施
- 実現方策16 災害時に必要な資機材等の確保
 施策目標 ・災害時応援協定を締結する関連団体数の増加



耐震補強した配水池



基幹管路の耐震化（布設替え）